



2019年9月27日

各 位

会 社 名 株式会社中村超硬
代表者名 代表取締役社長 井上 誠
(コード：6166、東証マザーズ)
問合せ先 取締役社長室長 藤井 秀亮
(TEL. 072-274-1072)

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2019年9月27日開催の取締役会において、2018年12月27日付「第6回乃至第8回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行ならびに新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー・プログラム)及び無担保融資ファシリティー契約の締結に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」について、下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2019年8月30日付「固定資産の譲渡及び技術供与に関する正式契約締結に関するお知らせ」で公表しましたとおり、南京三超新材料股份有限公司の完全子会社である江蘇三超金刚石工具有限公司に対し、当社が保有するダイヤモンドワイヤ生産設備等の譲渡及びダイヤモンドワイヤ製造に関する技術供与(以下、ダイヤモンドワイヤ生産設備の譲渡等)を行うこととしておりますが、当ダイヤモンドワイヤ生産設備の譲渡等を進めていくにあたり、当該設備等の移設に係る経費ならびに人件費等が先行して発生することが見込まれます。

また、2019年9月13日付「ダイヤモンドワイヤ生産事業からの撤退ならびに希望退職募集に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社は、ダイヤモンドワイヤの生産事業から撤退するとともに、当該事業部の一部従業員を対象に希望退職の募集を行っていくことから、今後、事業撤退や希望退職等に係る費用の発生が見込まれます。

これらのことから、当社の当面の資金状況は非常に厳しい状態が続くことが想定されます。

加えて、2018年12月27日に開示しました調達する資金の具体的な使途の一つを「フロー合成事業における事業拡大に向けた設備投資」としておりましたが、2019年8月30日付「受託合成事業からの撤退ならびに事業所閉鎖に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社は、受託合成事業を行うフロー合成事業から撤退することを決議いたしましたので、今回、資金使途の変更を決定いたしました。

2. 変更の内容

新株予約権の資金使途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は____で示しております。)

【変更前】

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 運転資金	2,049	2019年1月～2020年3月
② 有利子負債の返済	700	2019年1月～2020年3月
③ フロー合成事業における事業拡大に向けた設備投資	700	2020年4月～2021年12月
合 計	3,449	

【変更後】

具体的な用途	金額(百万円)	充当済金額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金	2,049	1,570	2019年1月～2020年3月
② 有利子負債の返済	700	—	2019年1月～ <u>2021年12月</u>
合 計	<u>2,749</u>	1,570	

※第6回新株予約権の行使により1,570百万円調達できたものの、当社株価の下落により、当初想定していた調達額に達していないことから、不足額については撤退を表明したフロー合成事業への開発投資を資金用途の項目から外し、調達予定総額を減額しております。なお、有利子負債の返済の支出予定時期については、第8回新株予約権の行使期間満了予定時期に変更しております。

3. 今後の見通し

本資金用途変更による当社の今期業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、開示の必要性が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上